

2025年4月16日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

淀川製鋼所（証券コード：5451）

【維持】

発行体格付：A- [安定的]

【格付理由】

独立系の表面処理鋼板メーカー。鋼板部門および建材部門からなる鋼板関連事業のほか、ロール事業、グレーチング事業、不動産事業などを手掛ける。主力の鋼板関連事業が収益の大半を占めており、グループ全体でみた事業面での収益源の分散効果は限定的だ。台湾など海外でも鋼板関連事業を展開しているが、利益面での貢献は小さい。

鋼板関連事業は鋼板建材や家電製品に使われる高機能・高意匠のカラー鋼板が主力製品で、物置や屋根材・壁材も手掛ける。主原料のホットコイルの仕入先を国内の鉄鋼メーカーだけでなく海外からも調達するなど、柔軟性の高い調達体制を構築している。海外は厳しい競争環境などを背景に中国やタイの収益状況は良くないが、台湾は同国内の需要を捕捉できており、収益の安定化が進んでいる。

鋼板関連事業での原材料価格上昇に対する価格転嫁などの効果で、連結営業利益は安定して100億円以上を確保できる力がついてきた。本社ビルの賃貸などを行う不動産事業も利益を下支えしている。ロール事業やグレーチング事業は低収益にとどまるが、全体への影響は小さい。グループの収益力はAゾーンに照らして問題ない水準を維持できている。財務バランスも実質無借金を維持しており、格付対比で良好だ。株主還元を強化しているほか、競争力向上を目的に設備投資を増やしていく可能性はあるが、強固な財務基盤が崩れることは考えにくい。

鋼板関連事業は建築需要の低迷や安値の中国製品の流入などの影響で事業環境は良くない。国内主体の収益構造であり、中長期的には需要の先細りも懸念される。アライアンス活用による販売体制の底上げや海外事業における市場開拓など鋼板関連事業での施策の成果を着実にあげていくことで、収益基盤を一段強化していけるか見守る。

【格付対象】

発行者：淀川製鋼所

【維持】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A-	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	淀川製鋼所
主任格付アナリスト	西元 純
信用格付を付与した日	2025年4月16日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイトにて上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	後藤 潤
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。